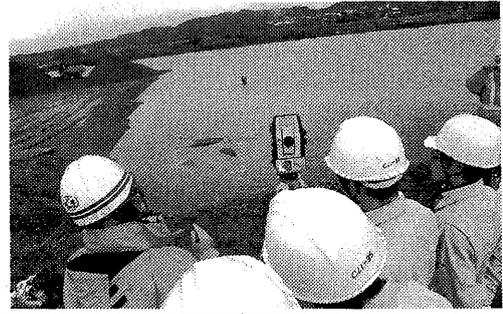


# 建設通信新聞

## 局流 備川下 濃川 整備 情報化施工に驚き 新潟工高生が現場見学

北陸地方整備局信濃川下流河川事務所は9日、新潟県立新潟工業高校土木科の3年生(7人)を対象とする現場見学会を開いた。最新鋭の土木技術である情報化施工に驚きの表情を見せるとともに、それを巧みに使いこなす技術者の説明を熱心に聞き入っていた。写真。

会場は、加賀田組が施工する信濃川下流鑄物師興野河道掘削その4工事。現場事務所では同社の立川晃祥土木事業部工事部長があいさつした後、同工事の頭川弘監理技術者と小栗滋樹現場代理人が工事概要を紹介した。続いて、工事情報館の「鑄物師タワー」に移動し、同事務所の南健二三条出張所長が事業全体について説明した。



(MG)バックホウの運転席に乗り込み、その仕組みに触れるとともに、即時にTSS(トータルステーション)の出来形管理を確認できる「Mr. samurai」(電子野帳)の性能に衝撃を受けた様子だった。最後に現場事務所に戻り、同校のグラウンドを工事個所と仮想し、3DCADによる

MGデータを作成した。質疑応答では男子学生が多い環境だけに、「女性との出会いはありますか」との質問が挙がり、頭川監理技術者は「良い仕事をしていけば、おのずと女性が付いてくる」と自身の経験を披露した。今回の取り組みは、就職を控えた学生に現場の雰囲気を知ってもらうと同校の校長が企画。依頼を受けた加賀田

組の中澤太執行役員土木事業部長は、小栗現場代理人が従事する工事を対象とし、開催に向け発注者とすり合わせしてきた。立川工事部長を含め、3人も同校のOBである。南所長は「安全性の向上、省力化、環境への配慮などに業界を挙げて尽力している。それが次代を担う若手に少しでも伝われば」と話している。

【建設ICT】		
1. 日経	2. 朝日	3. 毎日
4. 読売	5. 朝日	6. 毎日
7. 産経	8. 朝日	9. 毎日
10. 中部経	11. 朝日	12. 毎日
13. 建設通	14. 朝日	15. 毎日
16. 建設工		

平成26年12月12日(朝)・夕) P 7